



黒見 久美子 議員



### コロナウイルス感染対策について

**問** 新型コロナウイルスによる自粛生活や感染への不安などのストレスによって、心身に不調が現れるコロナ鬱について①相談状況と情報発信、周知方法について②AIで心の状態を判断できるココロボの導入について伺う。また、自宅療養者について③状況の把握や注意喚起などの情報発信はしているのか④自宅療養が難しい患者へのホテルや移動式宿泊施設の活用につい

て⑤自宅療養者への生活支援提供の取り組みについて伺う。

**答（市長）** ②「ココロボ」が市に有効なのか研究、検討したい。

**答（健康推進部長）** ①若い世代の相談が増えている。市ホームページに支援情報検索サイトのリンクを掲載している。③古河保健所が電話相談等の際に行っている。④⑤自宅療養者のフォローアップ等は県の管轄で食料品の配送等を行っている。市では、他市町の事例を参考に、何ができるか早急に検討していく。

### 災害弱者の対応について

**問** 災害時の聴覚障がい者への情報発信、避難所での手話通訳者配置、障がい者用の防災ベス

トの導入について伺う。

**答（総務部長兼危機管理監）** 防災情報は、メールや行政無線など文字と音声を取り混ぜ、要配慮者を含む全市民に行き渡るように努めている。

**答（福祉部長）** 手話通訳者の避難所への配置は難しい。手話奉仕員養成講座受講者に支援をお願いしている。防災ベストは、配布方法や対象者の選定等を研究していきたい。



障がい者用防災ベスト  
(石岡市ホームページより)



阿久津 佳子 議員



### 新型コロナウイルス対策について

**問** 災害級のコロナ感染禍において、①古河・坂東医療圏の緊急医療搬送体制と医療機関受入態勢機能不全の有無、その均衡が保たれているのか。医療崩壊につながらないための課題とその対応について②感染者の自宅療養時における日常生活アシスト、サポート体制は構築できているのか③若年層のワクチン接種強化支援体制は構築されているのか④学校教育現場と教育委

員会の「学びの保障」において、オンライン等による授業推進時に家庭教育環境の確保と教職員の負担軽減も含め、ICT支援員等の人的支援体制が不可欠である。以上、所見を伺う。

**答（健康推進部長）** ①茨城西南広域消防本部によると、緊急搬送を要する救急患者の受け入れは8月から増加傾向である。なお、県によると新型コロナウイルスに感染した妊産婦の入院受け入れ医療機関として県内9か所を指定し、万が一の事態に備えている。市では古河保健所に保健師を派遣することで協力体制を図っている。②市は自宅療養者の把握はできていないが、新型コロナウイルス感染症のフォローが必要な場合、保健所と市

の担当部署が連携を取りながらサポートを行っている。③小規模集団接種の実施や個別接種医療機関の接種枠拡充を行っている。ワクチンも潤沢に供給されており、接種体制が整っている。

**答（教育部長）** ④各学校のICT支援リーダーに対し、指導課主催のICT活用研修会を実施している。今後は企業や地域人材を活用し、教職員の負担軽減と児童生徒の学びを保障できる環境を整えるよう努力する。



オンライン授業の様子  
(古河三中において)